六甲大学
ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。　（毎月第３月曜日に掲載します）

ROKKO森の音ミュージアム

避暑地でアウトドアを満喫

市街地より気温が５度ほど低く、避暑地としても親しまれる六甲山。ROKKO森の音ミュージアムでは「避暑地でひんやり　森の音サマーフェア」を開催しており、多彩な冷涼体験ができる。８月25日まで。

初開催の「チェアリング」では、アウトドア用の折り畳みチェアを好きな場所に置いて、ゆったり気軽にアウトドアを満喫。360度透明のドーム「SIKIドーム」にはマリングッズなどを並べ、ひときわ涼しさを演出する（予約制で１日貸し切り可能）。

屋内では「演奏家のいないサマーコンサート」と題し、ミントアロマの香る空間で夏にぴったりの曲を自動演奏。また８月末までは「オルゴール組立体験」に参加すると〈オルゴール職人見習い認定証〉がもらえるほか、夏休みの自由研究に活用できるワークシートも用意する。☎078・891・1284

「オルゴール組立体験」は夏休みの自由研究にもぴったり

六甲山ビジターセンター

六甲山のチョウ 標本展示

県立六甲山ビジターセンターは夏休み企画展示として「みんな知っとう？チョウのあれこれ～神戸・六甲山のチョウの魅力～」を開いている。チョウの秘密や面白さを子どもから大人まで楽しみながら学習できる。８月31日まで。

六甲山に生息するチョウの標本などが並ぶ会場

六甲山に生息するチョウの全標本を展示するほか、「みんなでえらぶ！イケてる！ちょうちょ選手権」「みんなでチョウの楽園をつくろう！」などを実施。チョウにまつわる物知りクイズやチョウの採集テクニックのパネル展示もある。

また７月25日には、六甲山小学校の児童が育てたシチダンカの苗を同センター来場者にプレゼントする（なくなり次第終了）。今年の夏は六甲山のチョウたちと仲良く触れ合ってみては？　☎078・891・0616

ホテル神戸六甲迎賓館

予約不要 気軽にＢＢＱを

ホテル神戸六甲迎賓館は「六甲山で日帰りＢＢＱ!!」と銘打ち、予約が要らず手ぶらで楽しめる気軽なバーベキュープランを用意している。10月１日まで。

メニューは、ヘルシーなジンギスカンセット（３千円）、海鮮焼き＆ビーフセット（3500円）、ボリューム満点の国産牛コース（４千円）。料金はいずれも消費税、サービス料込み。小学生から大人料金。ドリンクは別途注文する。

またホテル裏のこべろく広場には、広大な天然芝のドッグランを完備。こべろくハウスでのバーベキューを味わいつつ、ドッグランで愛犬と遊び、天然温泉に入浴できるバリュープラン（７千円）もある。

ヘルシーさが人気のジンギスカンセット（写真は４人分）

営業時間は午前11時～午後７時（最終退店時間）。予約不要なので、涼しい山上で熱々バーベキューがしたくなったら、直接ホテルへＧｏ！　☎078・891・1239（代表）

根岸真理が案内 山の四季便り

古民家で味わう健康定食

六甲山に点在している茶屋を紹介するシリーズ。今回は、心地よい水辺の散策コース「水と緑の回遊路」がある烏原貯水池からほど近いところにある「天王茶屋」を訪ねてみた。

神戸市兵庫区、平清盛ゆかりの「雪御所」跡西側を流れる石井川を上流方向へ歩くこと約15分。「つ」の字型に川が屈曲した先で、市街地特有の喧騒が消え、いきなり静かな隠れ里といった風情となる。橋を渡り、急な坂を登ったところにたたずんでいるのは、築百年越えの古民家。

神戸・平野の奥座敷「天王茶屋」

格式を感じる門をくぐり、のれんのかかった玄関を開けると、まるで昭和初期にタイムスリップしたような感じ。靴を脱いで居間へ上がると、大きな掘りごたつ席があり、先客がきさくにあいさつをしてくれた。

「どちらから？　山歩きをしてきたの？」

ご近所さんが気軽に通う店ながら、初めての客にもフレンドリーな雰囲気で居心地がよい。縁側のガラス窓からは石灯籠などが配置された和風の庭園が望め、かすかに涼しげな川音も聞こえていた。

店主の森本裕子さんは、元々近所に住んでいて、縁あってこの物件と出会ったとか。地域性を生かしつつ建物を活用するには、茶屋にするのがよいのではと、3年前に開店。ご自身がふだんから体調管理のために食べている酵素玄米ごはんなど、健康にこだわったメニューを提供している。お米は淡路島の農家から直接仕入れる無農薬有機栽培のもの、野菜はなるべく地元産の新鮮なものを仕入れているそう。

「酵素玄米定食」を食べてみた。玄米特有の固い歯ごたえではなく、食べやすくて米のうまみがじんわり。添えられたおかずも、上品なだしが利いておいしかった。

近所のパン屋から仕入れる食パンを使ったトーストセットもお勧めだ。低速ジューサーで作られる「ロープレスジュース」は、青菜たっぷりなのにくせがなく、夏バテに効きそう。暑い季節にぴったりの「冷やしうどん」も始まっている。

地域に密着した個人店なので、早い時間から売り切れになってしまうこともあるとか。ホームページから登録できるＬＩＮＥで予約をしていくのがよさそうだ。

菊水山への登山道からも近く、広々とした天然温泉の湊山温泉が近いのもありがたい。このあたりに下山してきたら、冷えたビールをめがけて立ち寄るのが定番となるかも…。

神戸・平野の奥座敷にたたずむ古民家カフェ「天王茶屋」

体に優しい素材にこだわった酵素玄米定食

天王茶屋　神戸市兵庫区天王町２の１。木・金・土・日曜営業。８～15時（ラストオーダー14時半）。https://tenno-jaya.jimdofree.com/

レトロなガラスのはまった縁側

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう！」など。

芸術学部

◆サープレライブ♫ The Nacometers
９月９日13時、THIRD PLACE ROKKO（六甲山上バス、六甲摩耶スカイシャトルバス「記念碑台」で下車し徒歩５分。）12時開場、順次食事スタート。神戸市在住のアーティストNacomiさん率いるバンドThe Nacometers＝**写真**＝によるアメリカーナ・ミュージック生演奏ライブと食事を楽しむ。自家製和牛コンビーフのホットサンドと１ドリンク付、4500円。定員24人。予約サイト（https://3rdplacerokko.com/xo_event/20230909event/）から申し込む。同店☎078・891・0529（11～16時）

文学部

◆四万六千日大祭
８月８日13時～９日０時半頃まで、摩耶山天上寺（摩耶ロープウェー「星の駅」徒歩10分）。この日に参拝すると四万六千日参ったのと等しい功徳と利益があると言われる。９日午前０時にはご本尊の観音様に向けて天から除災招福の星が下るとの言い伝えがある。８日13時より柴燈大護摩供（さいとうおおごまく）＝**写真**、19時より萬燈会（まんとうえ）、星迎え会式、23時より星下り会式などがある。入山料志納。同寺☎078・861・2684

環境学部

◆六甲山上で夏の植物を観る　８月19日10時、六甲山上バス、六甲山上アスレチックスパーク前集合。涼しい六甲山上をミュージアム前バス停まで散策しながら、エゴノキの実＝**写真**＝など秋の気配を感じ取れる植物を観察する。講師は「六甲山自然案内人の会」のメンバー。弁当、飲料水、雨具などを持参。参加費300円。予約不要。小雨決行。六甲山自然案内人の会☎090・8010・9227（18～20時）

総合学部

◆ハンモックカフェ～木陰で大人の休日～
８月６日までの土日祝日、８月11～15日の毎日11～16時（ラストオーダー15時半）、六甲高山植物園ナツツバキ広場（六甲ケーブル「六甲山上駅」から六甲山上バス「高山植物園」）。多くの広葉樹が生育する植物園の樹林区。風の音や鳥のさえずりが聞こえる中、木陰でハンモックに揺られながら、ゆったりとしたひと時を楽しむ。コーヒーやお菓子の販売もある。無料（別途入園料中学生以上900円、４歳～小学生450円。カフェ利用料別途）。雨天中止。同園☎078・891・1247

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

地域社会との共生

大和ハウスグループが持ち続ける「共創共生」の姿勢は、事業を通じて社会と共にあること、そして商品やサービスを通じて、暮らす人と共にあること。この精神に基づき、地域社会との信頼関係の構築に努めています。

その一環として、少子高齢化や人口減少、空き家問題などの社会課題解決のため、大和ハウス工業が過去に開発した郊外型住宅団地（ネオポリス）において、再びまちを耕し、新たなまちの魅力を創出する「リブネスタウンプロジェクト」に取り組んでいます。中でも、兵庫県三木市にある緑が丘ネオポリス（青山地区）では、団地の一角に、当社オリジナルミニ胡蝶蘭「COCOLAN（ココラン）」の栽培施設「ココランハウス」を開設し、地域の高齢者や障がいのある社員など多様な方が働く場所を創出しています。

→COCOLAN

2019年には三木市内の小学校の卒業生や新入生に「COCOLAN」を進呈する活動を開始し、ココランハウスにて月１回、「COCOLAN」の販売やワークショップを行うマルシェを開催し、地域との連携を深めています。

2022年10月からは、「HANAIKU（花生・花育）プロジェクト」として、『花と共に生き、花と共に育つ』というコンセプトのもと、緑が丘ネオポリスで栽培した「COCOLAN」を通じて、子どもたちを中心に人と人、人と地域をつなぐことで心と絆の成長を育む活動を全国で始動しました。

これからも大和ハウスグループは、地域の人々と対話を重ね、共に活動することで、SDGsが目指すサステナブルな世界を目指していきます。

→栽培施設で働くスタッフの様子

Daiwa House®